

お知らせ

岡山県立大学
教学課学生支援班 門口
電話 (0866) 94-9164

令和6年度 岡山県立大学学生表彰式の開催について

岡山県立大学学生表彰規程に基づく、令和6年度学長賞の表彰式を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 令和7年1月31日（金）10:00～10:40

- 2 場 所 岡山県立大学 講堂1階 会議室
(総社市窪木111)

- 3 被表彰者 個人：7名
(別添一覧のとおり)

- 4 次第
 - ・表彰（授与者：沖学長）
 - ・学長挨拶
 - ・写真撮影

令和6年度 岡山県立大学学生表彰について

No.	受賞者	表彰内容	表彰区分	表彰区分
1	保健福祉学研究科 博士後期課程 保健福祉科学専攻 イケダ チアキ 1年 池田 千秋	第31回ポリフェノール国際会議におけるポスター賞の受賞をはじめ、学術論文、国際会議や国内学会での発表など積極的に研究に取り組み、評価され、実績を積んでいる。また、優れた知力と研究意欲に加え、円満な人柄を兼ね備えており、研究室の後輩に対する指導も熱心である。他の学生の模範となるものであり、表彰に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ア)学術研究	学長賞
2	保健福祉学研究科 博士後期課程 保健福祉科学専攻 キムラ アキコ 1年 木村 亜紀子	令和6年9月に横浜で開催された「第13回日本認知症予防学会学術集会」において「MCI(軽度認知障害)と診断された人の受診に至るまでのプロセスの可視化」についてポスター発表(口頭)を行い、浦上賞を受賞した。浦上賞は、一般演題発表の中から特に優秀な発表について授与される賞であり、また、医学会で社会福祉学の研究が評価されたことにおいて意味のあるものである。本学の名誉を高めた功績は顕著であり、学長賞に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ア)学術研究	学長賞
3	情報系工学研究科 博士前期課程 システム工学専攻 マンダイリュウキ 2年 万代 竜輝	情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会(CSEC研究会)による第104回コンピュータセキュリティ研究発表会において、Webセキュリティに関する研究発表によりCSEC優秀研究賞を受賞した。本賞は、高い完成度を持つ優れた論文や今後の発展が有望視される若しくは新たな分野を切り開くような萌芽的な研究を対象に表彰されるもので、2023年度の研究発表90件の中から7件に選出された。情報処理学会の中で最多会員数を有する大規模な研究会において上記表彰を受けたことは、本学の名誉を高めるものであり、学長賞に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ア)学術研究	学長賞
4	情報工学部 人間情報工学科 サカタ リコ 3年 阪田 莉子	2024年10月12日から14日、全国16の公立大学から65名の学生が参加し開催された全国公立大学学生大会(LINKtopos in IWATE2024)において、運営学生の代表を務めた。初日のポスターセッション、2日目のワークショップ、最終日の公立大学学長会議参加者とのランチミーティングなど充実した内容を企画した。オンラインでの打ち合わせを重ね、期間中は全体の統括としてリーダーシップを発揮し、3日間の大会を成功に導いた。この活動は、他の学生の模範となるものであり、表彰に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ウ)社会活動	学長賞
5	情報工学部 人間情報工学科 フジイ タイキ 3年 藤井 大樹	2024年10月12日から14日、全国16の公立大学から65名の学生が参加し開催された全国公立大学学生大会(LINKtopos in IWATE2024)において、運営学生として尽力した。特にワークショップでは、全体の運営管理のほか適宜ファシリテーターとして参加し、最終日の成果発表を成功に導くなど、大会前の企画、準備から期間中の運営まで幅広く活躍した。この活動は、他の学生の模範となるものであり、表彰に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ウ)社会活動	学長賞
6	デザイン学部 建築学科 ハシモト ナナミ 4年 橋本 七海	学生の設計競技では最も難関である「2024日本建築学会設計競技 課題「コモンズの再構築—建築、ランドスケープがもたらす自己変容」において、最優秀賞を受賞した。大学院生も含めたなかでの受賞、さらに唯一のタジマ奨励賞とのダブル受賞となった。岡山の中山間地域吉備中央町の個人農場のこれらを通じて、持続可能なコモンズの再構築方法を提案した作品は、審査員の深い感動をかちえ受賞に至った。本学の名誉を高めた功績は顕著であり、表彰に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ア)学術研究	学長賞
7	デザイン学研究科 造形デザイン学専攻 オガワ サクラコ 2年 小川 桜子	令和4年本学造形デザイン学科在学時に株式会社ビザビとの共同研究にグループで参加し、岡山県の食品ロス削減を象徴するマスコットキャラクター「あっぱれトリオ」をデザインした。令和5年には勝央町との共同研究に参加し、「きんとくん」をモチーフにしたマンホール蓋を10種類デザインし、町民アンケートにより1案が町内5か所に設置された。令和6年には総社市との共同研究に参加し、投票啓発のための8種類のオリジナルキャラクターを用いた画像を制作し、総社市公式LINEで配信された。本学の地域連携活動に積極的に参加し、高い専門性を活かして地域の課題解決に貢献してきた。これらの功績は、他の学生の模範となるものであり、表彰に相応しいものである。	学則第47条 学生表彰規程 第2条第1項 (ウ)社会活動	学長賞